

2026年度

明海大学

総合型選抜（AO）A日程

分析力テスト

（試験時間 60 分）

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 試験終了後、この問題用紙は回収しますので、表紙と問題は切り離さないでください。また表紙には受験番号・氏名を忘れずに記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 解答は必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
5. 解答用紙に志望学科・受験番号・氏名を忘れずに記入してください。また、解答は横書きで記入してください。
6. 問題の印刷に不鮮明な箇所などがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

受験番号					
氏 名					

日本における外国人労働者に関するグラフ（図1～3）および関連する資料を読んで続く問1～5に解答しなさい。

図1 外国人労働者数の推移

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

（出所）内閣府、令和6年（2024年）版『年次経済財政報告』（p.201）より
（注）2008年は平成20年、2019年は令和元年に該当します。

図2 外国人労働者の年齢分布

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

（出所）内閣府、令和6年（2024年）版『年次経済財政報告』（p.208）より
（注1）「高技能」（高度な技能を持つ人材確保を目的とした在留資格）、「特定技能」（特定の分野の人材確保を目的とした在留資格）、「技能実習」（日本の技術・技能を学ぶための在留資格）、「永住者」（国籍は外国であるものの在留期間の制限のない在留資格）
（注2）「身分に基づく在留」は、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」からなる

図3 日本人労働者と外国人労働者の賃金比較

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

(出所) 内閣府、令和6年(2024年)版『年次経済財政報告』(p.212)より

(注) 比較にあたっては、学歴や年齢、勤続年数、同職種の経験年数、性別、就業形態と
いった個人属性をコントロールし、それらの影響を取り除いた数値を用いている。

図中の***は1%水準で統計的に有意な差であることを示す。

資料 「我が国における外国人労働者の現状と課題」

資料については、著作権の関係から
掲載いたしません。

内閣府、令和6年(2024年)版『年次経済財政報告』より(下線は問題作成者追記)

- 問1 図1と図2のグラフを見て、外国人労働者の推移と外国人労働者の年齢分布の傾向からどのようなことがわかるか、読み取れることを述べなさい。(150字以内)
- 問2 図2と図3のグラフを見て、外国人労働者の年齢分布と日本人労働者との賃金比較からどのようなことが読み取れるか。図からわかることを述べなさい。(150字以内)
- 問3 資料の冒頭に「我が国で働く外国人労働者数は増加傾向で推移」とあるが、なぜ増加傾向にあるのか、その理由について資料から読み取れることを述べなさい。(100字以内)
- 問4 資料に「国際的な人材獲得競争の中で、引き続き外国人を惹きつけ、労働力として活躍してもらおう」とあるが、そのためにはどのような対策が必要と述べられているか。資料から読み取れることを述べなさい。(200字以内)
- 問5 資料に「外国人労働者の受入れに当たっては、単なる労働力としてではなく、日本社会、地域社会を構成する一員として受け入れ、日本人と外国人が互いに尊重し、安全・安心に暮らせる共生社会を実現していくことが重要」と書かれているが、そのためにはどのようなことが必要か、あなたの考えを具体的に述べなさい。(200字以内)

採点のポイント

問1 (20点)

- ・外国人労働者は2008～2023年にかけてほぼ継続的に増加している。
- ・コロナ禍の後も横ばいから増加に転じている。
- ・日本人に較べて年齢分布は若く、特に20代半ばがピークである。
- ・「高技能」は「特定技能・技能実習」より年齢が約5歳高い。

などの状況を読み取り、解答に書いていることが採点ポイントです。

問2 (20点)

- ・様々な条件を考慮しても日本人と外国人の間に賃金格差がある。
- ・賃金格差は、特に技能実習で大きく、高技能では小さい。
- ・若年層の外国人に特定技能・技能実習が多く、この層で賃金格差が大きい。
- ・高技能は比較的年齢が高く賃金格差は小さい。

などの対比を読み取り、解答に書いていることが採点ポイントです。

問3 (15点)

- ・現在、製造業・非製造業ともに企業の人手不足感が強い。
- ・少子高齢化による労働力人口の下押し圧力が続いている。

といった理由を読み取り、解答に書いていることが採点ポイントです。

問4 (20点)

- ・合理性のない賃金格差を生み出すような制度や慣習を見直す。
- ・日本語能力が高いほど仕事への満足度が高いので、日本語教育を効果的に行う。
- ・「やさしい日本語」を活用し日常生活における支障を取り除く。
- ・留学生が高技能外国人の重要な供給源であることから、留学生の受け入れや就職支援に取り組む。

などの対策について読み取り、解答に書いていることが採点ポイントです。

問5 (25点)

資料を踏まえた理由とともに、それに基づき、論理的に考えが述べられていることが採点ポイントです。